

りょうCaféのご案内

1. りょうCafé Zoom

●2020年10月9日(金)19時~21時

令和2年第3回定例会の報告会をZoomで実施します。今定例会で決まったこと、話し合われたことの注目ポイントを、石川りょうがわかりやすく解説します。



2. りょうCafé芝山団地商店街

●基本は毎週水曜日の10時から正午

船橋市政へのご質問やご意見、ご要望など、市民の皆さんの生の声をお聞かせください!

石川りょうと個別に話したいという方に向けたりょうCaféです。

- *参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください!
- *日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、SNS等で必ずご確認ください。

プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(健康福祉委員長)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア入門学科



▲中学生にボランティアで英語指導中

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者:石川亮
住所:船橋市芝山3-26-1
携帯電話:080-6575-4711
固定電話:047-463-2690
メール:info@ishikawaryo.net



市民が大変なときだからこそ頑張るのが議会

「市民が大変なときだからこそ、頑張るのが公務員だ」。様々な自治体の首長(知事や市長など)がおっしゃられている言葉です。当たり前のことではありますが、コロナ禍において、その言葉の重みを一層感じています。そしてこれは、公務員のみならず、議員にも当てはまる言葉です。

このコロナ禍の中で、船橋市議会も、まさに「市民の皆さんが大変なときだからこそ頑張る!」という気概で職務に当たってきました。例えば、私が委員長を務める健康福祉委員会では、委員会決議を全会一致で採択し、船橋市役所に政策提言を行いました。健康福祉委員会とは、市民の皆さんの健康に関する分野(医療や保健)、高齢者や障がい者福祉、そして、子育て政策などを所管する委員会です。今次コロナ禍で大きな影響を受けた業種の一つに介護分野があります。



▲議員によるワークショップを通じて決議をまとめました。

当委員会では、①市内の介護事業者(9団体)をお招きして意見や要望を聴取し、②それらの意見や要望に対する船橋市役所の見解をうかがい、③10人の健康福祉委員で議論をして、委員会としての政策をまとめて市役所に提言したのです。

私の目指す議会改革の一丁目一番地は、党派(会派)を超えて議論し、政策提言をしていける議会にすることです。今回それができたことは大きな一歩だと思っています。今後はこのような取り組みを当たり前にしていきたいと考えています。

【健康福祉委員会：市内介護事業所への支援を検討することを求める決議(概要)】

- 感染対策衛生用品(マスクや消毒液等)の供給体制構築
- 介護人員確保支援
- 財政支援の検討
- 緊急時や感染症に対するマニュアル作成支援
- 研修のオンライン化や映像資料(DVD等)作成
- 検査体制の拡充
- 船橋市から介護事業所への情報連絡体制の見える化と一元化
- 介護従事者とその家族へのケア(メンタルケアや宿泊施設などの支援)

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ



で検索!または、QRコードはこちら➡



船橋市議会に対する市民意識調査（アンケート）

船橋市議会議員選挙の投票率は、平成19年は42%だったのですが、23年に38%、27年に37%、最新の31年では34%と、右肩下がりで悪化しています。これは、本市議会に対する市民の皆さんの信頼が低下していることの証左だと思っています。

私が副委員長を務める広報委員会では、この事態を議会の危機的状況ととらえ、①議会の広報広聴機能の改善のため、そして、②今後の議会改革につなげるために、市議会80年の歴史の中で初めてアンケート調査を行いました。無作為抽出した18歳以上の3,000人の市民の皆さんを対象に、船橋市議会や議員に対する認識、そして、今後の市議会に求められる取り組みなどについてお尋ねしました。

1,255人（約42%）の方からご回答をいただきました。コロナ禍にも関わらずご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。最終的な結果を取りまとめた報告書の作成はまだですが、単純集計の結果は出ましたので、私の着眼したポイントをご紹介します。

*最終報告書ができあがれば、市議会のウェブ上に全ての結果が公表されます。

1. あなたの年齢はどれですか？

全体	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
1255人	20人	107人	139人	228人	191人	200人	238人	115人	17人
100%	1.6%	8.5%	11.1%	18.2%	15.2%	15.9%	19.0%	9.2%	1.4%

アンケートに答えてくださった方々の年齢構成を分析すると、18歳から49歳までの方々が約40%であり、50歳以上の方々が約60%を占めるという結果でした。したがって、比較的高齢の方々に多く回答していただいたということがわかります。

2. 選挙に行かない主な理由は何ですか？

全体	投票日は忙しかった	投票所が遠い	候補者を知らない	投票しても何も変わらないと思う	その他	無回答
531人	148人	13人	181人	136人	47人	6人
100%	27.9%	2.4%	34.1%	25.6%	8.9%	1.1%

なぜ選挙に行かないのか？という問いに対する1番の答えは、「候補者を知らない」（34.1%）からだということがわかりました。考えてみれば当然です。候補者を知らなければ誰に投票していいかわかりませんし、「この人に託したい」という人がいなければ選挙に行くインセンティブも働きません。



3番目に多かった「投票しても何も変わらないと思う」という理由は、議会や議員に対する諦めの境地であり、市民の皆さんにこのように思わせてしまっていることに対して、私も議員の一人として心から申し訳なく思いますし、これこそ改善していかなければならない最大の課題だと認識しました。

3. 投票率の向上に何が最も必要だと思いますか？

全体	投票所を増やす	商業施設等で期日前投票をできるようにする	地域の中で政治や選挙について理解を深める機会を増やす	若い人が政治について学ぶ主権者教育を充実させる	投票したい議員がいること	その他	無回答
1255人	46人	244人	262人	182人	365人	111人	45人
100%	3.7%	19.4%	20.9%	14.5%	29.1%	8.8%	3.6%

投票率を上げるために必要なことは、「投票したい候補者がいること」（29.1%）でありまずはその存在を知ってもらうためにも広報が重要であることを改めて認識しました。「投票所を増やす」（3.7%）といった小手先の方法では駄目ですし、情報だけを一方的に配信するこれまでの広報では通用しないと考えます。アンケート結果からは、「地域の中で政治や選挙について理解を深める機会を増やす」（20.9%）ことや、「若い人が政治について学ぶ主権者教育を充実させる」（14.5%）といった、議会や議員が地域に積極的に飛び込んで啓発する新しい広報の形が求められていることがわかりました。

4. あなたは市議会議員に何を望みますか？（複数回答可）

全体	行政のチェック	政策立案能力	住民の意見を吸い上げる	行政と住民の橋渡し役	地域の課題解決力	リーダーシップ	清廉潔白さ	説得力・発言力	説明責任	その他	無回答
1255人	299人	247人	672人	443人	707人	156人	342人	139人	150人	44人	23人
100%	23.8%	19.7%	53.5%	35.3%	56.3%	12.4%	27.3%	11.1%	12.0%	3.5%	1.8%

市議会議員に何が望まれているのかというと、「地域の課題解決力」（56.3%）と「住民の意見を吸い上げる」（53.5%）であり、このような役割を果たせる議員こそが、「投票したい議員（候補）」であることが推察できます。

5. 船橋市議会に今後どのような取り組みが必要だと思いますか？（複数回答可）

全体	議会を夜間や休日にも開く	インターネットなどを利用した情報発信	議会報告会の開催	市民の意見を聴く意見交換会の開催	議会ホームページの充実	議会だよりの充実	議員の資質の向上	議会が政策提言や政策立案する機能の強化	議員間で討議する場を増やす	議員定数・議員報酬の見直し	議会・議員活動を支援する議会事務局の機能強化	その他	無回答
1255人	42人	399人	54人	380人	128人	237人	472人	281人	93人	350人	51人	64人	97人
100%	3.3%	31.8%	4.3%	30.3%	10.2%	18.9%	37.6%	22.4%	7.4%	27.9%	4.1%	5.1%	7.7%

議会に求められる取り組みでは、「議員の資質の向上」（37.6%）を求める声が多く、質問3と4の結果から、①住民の意見を吸い上げて地域の課題を解決できる議員、②地域の中で政治や選挙についての理解を深めることのできる議員、が求められている議員像であることがわかりました。「市民の意見を聴く意見交換会の実施」（30.3%）を求める声も多くあり、議会の広聴機能も求められていることが判明しました。

このアンケートは、実施しただけでは意味がありません。この結果を受けて、議会が市民の皆さんに求められていることをどれだけ実践できるか、そして、議員が実際に変わっていけるのが最も重要です。議会と市民の皆さんとの意見交換会や、学校での主権者教育などといった広報広聴活動をただちに始めるべきです。そして、今回のようなアンケート調査は定期的を実施して、市民の皆さんの議会に対する通信簿として活用していくべきです。今回いただいた貴重なご意見を参考にして、市民の皆さんに信頼される船橋市議会を目指して、今後とも努力してまいります。